

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:2020年2月14日

事業所名:

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	活動スペースの分割や他施設の借用等。	遊びの拠点(スクラムとスクラムⅡ)を分け活動したり、曜日ごと・活動内容・メンバー等に応じて活動場所を変えたりし、計画的に実施する。
	2	職員の配置数は適切であるか	0	5	2	非常勤職員やボランティアの活用を図る。	必要な職員数は確実に配置できているが、急な休みや、様々な事態の対応など、難しい状況もある。常勤・非常勤を問わず募集を継続する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	1	施設出入口にスロープを設けている。	現在のところ肢体不自由や視覚障害等の利用者は利用されていないが、前向きに検討中である。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	0	職員研修でPDCAサイクルについて研修を深めている。	この評価書の活用はもちろんのこと、法人で検討される年間事業計画に、運営目標と実践目標を立て、その進捗状況や課題を共有しつつ日々の運営・実践に取り組む。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	評価後の報告を行うことや結果を事業計画に反映させている。	次年度の業務計画の目標などに反映させ行っている。スムーズに業務改善につながるケースもあるが、時間のかかるケースもあり、課題を共有しつつ取り組んでいく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0	ホームページ・会報等で公表している。	外部評価委員会、保護者説明会を経て、ホームページ・お便り等にて公表する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	0	地域代表、教育関係者、学識経験者を招聘。	街づくり協議会会長、特別支援学校管理職、大学教授等を招き、外部評価委員会を開催する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	毎月、法人全体研修及び事業所研修を実施。	各種研修や研究公開など案内をし、各職員・研修の機会が確保する。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	法人・事業所研修や事業所独自のツール(スクラムプラン)の活用。	スクラムプランでは、年齢別のアセスメントを行い、現在の生活や将来の生活の現状と課題の抽出から、具体的な取り組みへと繋がるよう、段階を追って指導や支援も受けつつ計画作成をおこなう。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	スクラムプラン以外にも、WISC検査結果を心理士とともに分析している。	遊び・余暇活動、コミュニケーション能力、社会性(人とかかわり)、日常生活能力、地域社会での生活能力、職業スキル、職業行動について、4~9歳、10~14歳、15歳以上と3種類を用意したスクラムプランにて具体的にトータルな生活場面を把握する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	職員・非常勤職員で活動を創る。	職員で分担し、当日の担当職員が立案したものを職員朝会で意見を出し合い、さらに、午後、非常勤も交えたスタッフミーティングを実施し吟味する。
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2	0	利用児生徒の主体的な遊びの展開を図る。	季節や行事・専門指導・利用児の課題や要望等をもとに職員で話し合いつつ活動プログラムを作成する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	0	事前に計画を立案し検討後保護者へ連絡する。	上記の作成の中に各課題を考慮しつつ設定し、全員の課題や要望等を考慮しつつ年間計画へ結び付けていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	0	職朝を活用し、計画へ活かしている。	スクラムプランの中に、①チェックリストの各領域へ課題ごとに整理する、②領域ごとに目標を整理する、③目標を分類し実施計画へ反映するというシートを活用し計画を作成する。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	職員朝会及び打ち合わせ会で支援内容・役割分担等検討する。	毎日必ず行われており、ホワイトボード等も使い、職員や集団の動きも把握しつつ、内容や分担等を確認する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	2	活動中・後に話すこともあるが、職朝を活用。	支援終了後にできない場合があるので、翌日の職員朝会の際には必ず、前日の反省を行い、共有する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	1	分担を決め毎日行っている。	日々行っており、検証・改善につながっている。今後はより正確に、利用者の課題や状況等を考慮した工夫をしていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	定期的なモニタリングは必ず行っている。	モニタリングの面談を定期的に実施し、見直しを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	日々の活動計画案作成に当たり配慮している。	活動計画作成時などにも基本活動等を参考に作成する。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携 関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	児発管をはじめ、担当者が参画している。	各種活動で利用者と一緒にいる機会が多いスタッフが担当として配置されており、自発管と情報共有し参画する。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	0	適宜双方の担当者間で適切に行っている。	常時行われている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医ケア児は在籍していない。	医療的ケアが必要な利用者への対応は現在のところ、施設設備・職員体制面から不可能であるが、受け入れる場合は主治医等と緊密な連携は必須であることは理解されている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	1	法人内や他の機関とも連携を深めている。	同じ法人内からの受け入れについては引継ぎなど情報共有は十分にできている。法人内事業所や他の事業所等との話し合いなどに参加した場合など、職員朝会・会議等にて報告し、内容の共有化を図るなどより密な連携ができるようにしている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	1	スクラムプランや移行支援計画など活用し、連携を図っている。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	0	職員・保護者研修・外部評価、その他を活用。	特別支援教育や発達心理、療育などの専門機関とも連携を取り進めている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	1	地域の公園・貢献活動にて、機会確保する。	利用児の友人などと交流したり、地域の公園等で一緒に活動する機会があり、一緒に遊んだりするような支援もいくつか活用している。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	1	地域の福祉関係者と繋がりを連携している。	県・市などの案内や公文等に留意しつつ、呼びかけがあった際には積極的に参加していく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0	迎えの際や定期的な面談等を活用する。	会報等には利用児の様子や親支援策の記事等を掲載したり、発達・支援相談等定期的に実施する。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	1	0	連載記事を掲載する。	事業所のお便りの中にペアレントトレーニングについて詳しく連載しており、保護者会の際にも説明したり話題にあげたりしている。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	保護者会を活用している。	年度当初のオリエンテーションにて、必ず説明している。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	相談には必ず応じ、できる限りの助言等をしている。	子育てや教育等に関して障害特性に応じた関わり方や支援・指導法について職員研修に努め、信頼される取り組みにつなげる。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4	0	年度当初・末の他にも行事等を活用している。	保護者会は年度当初と年度末に実施している。父母の会としては実施はしていない。その在り方や方向性など課題が大きい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	職員朝会等にて報告・確認・共有し解決に向け記録している。	いつでも対応できるようにしており、全職員で検討し速やかに対応できるようにしている。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	2種のお便りを月に1回必ず発行している。	毎月1回当事業所のお便りを定期発行している。活動の様子や行事予定、親支援の記事などを掲載している。
	35 個人情報に十分注意しているか	7	0	0	個人情報の承諾書を全員に確認している。	必ず保護者に個人情報の取り扱いについて調査を行い対応している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	個々の障害特性に応じた対応をしている。	話し言葉だけのコミュニケーションに頼ることなく、抽象度の調整や視覚情報等々を活用して応じている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0	0	民生委員・老人会と連携を図っている。	秋まつりや餅つき交流など、書面で配布したり電話連絡をしたりして、地域の方々と取り組めるようにしている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	今後も保護者への周知を徹底する。	各マニュアルを整備し避難訓練や感染症による嘔吐への対応など取り組んでいる。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	消防署と連携し実施している。	年に2回、地震や火事などを想定した訓練を実施している。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	今後も毎年1回法人研修を継続していく。	必ず、法人から複数名研修に参加・学習する機会を持たせ、法人全体での研修会にて報告会を実施し深めている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	身体拘束の事例はないが、保護者への説明と職員の学習を深めている。	身体拘束については職員会議にて、協議し、保護者に対しては身体拘束についての説明と同意書を作成し取り組んでいる。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	1	個々のアレルギー調査と対応をしている。	各種アレルギー反応については、全利用児の保護者からの調査をもとに把握しており、全職員で確認・共有化している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	事例集を作成し、報告も随時行っている。	代表的な事例をまとめたり、新たな事案について事例集の中に入れてたりして全職員に配布し、共有している。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。